



曲面・大型の壁に



吊りポスター横断広告に



複数の柱に



様々なサイズのモニターにも

デジタルサイネージの新しい提案。

ピーサイネージ
P SIGNAGE
プロジェクター対応型・配信管理・デジタルサイネージ

サイネージモニター・プロジェクターなど、あらゆる表示媒体に対応可能な配信管理システムによる、

新しいデジタルサイネージのかたち。

フレームレスかつ大画面を実現する映像投影、自由な画角設定、設置やコストの手軽さなど、

サイネージモニターのみでは難しかったデジタルサイネージの世界が、ピーサイネージにより新しく広がります。



デジタルサイネージの新しい提案。

ピーサイネージ
PSIGNAGE

プロジェクター対応型・配信管理・デジタルサイネージ

いままでのサイネージモニターだけではない、
プロジェクターなどあらゆる表示媒体に対応可能な配信管理システムによる、
新しいデジタルサイネージのかたち。



いままでのサイネージモニターに加え、特殊な形状のモニターや、LEDビジョン、プロジェクターを使ったデジタルサイネージへ。これまでのサイネージシステムでは難しかったモニター・プロジェクターのなど様々な表示媒体を用いた複合的なシステム構築を可能にします。従来はフルHD(16:9)などに固定されていましたが、配信画角サイズの設定を自由に変更できるようになり、様々な解像度の表示媒体を利用可能です。特にプロジェクターに関しては高輝度・高性能プロジェクターと専用の配信管理システムを使うことで、美しく大型で自由な映像投影と、モニター枠からの解放、大幅な導入コスト減、設置・メンテナンス手間の減少など、新しく様々なメリットが生まれる配信管理デジタルサイネージの世界が実現します。

表示媒体を選ばない配信管理システム

ディスプレイ・プロジェクター等、
様々な表示媒体を含む複合的なシステム構築

縦横比16:9であるディスプレイモニターはもちろん、手軽に大画面サイネージを作り出し、天井や床・曲面への映写やプロジェクションマッピングの配信までも可能にするプロジェクター、特殊な形状のモニターなどを内包するサイネージシステムを一元管理・運用することができます。

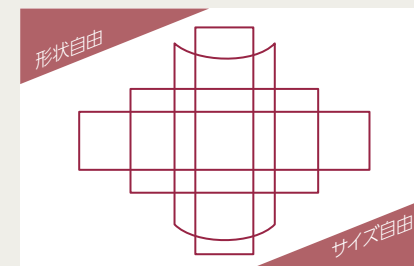


プロジェクター利用のメリット・マルチモニター型サイネージとの比較



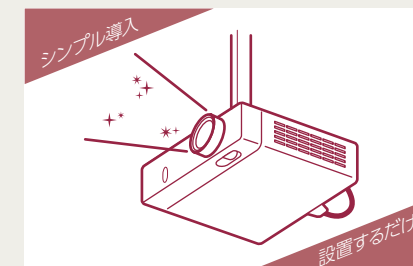
モニター枠の無い美しい映像

今までのマルチモニター型サイネージと違い、近くで見てもモニター枠の無い美しい映像を投影することが可能です。
※ただし投影する壁の状態により、映像に影響する場合がございます。ご了承ください。



投影面・形状の、自由・大型化

壁さえあれば、縦長でも横長でも、さらに曲面でも投影可能です。プロジェクターの調整により、様々な場所での投影が可能になりました。
※プロジェクターの機種により、対応可能なサイズが異なります。



ハード面・設置などの導入コスト減

今まで煩雑だった、複数モニター導入時の取付工事がほぼ不要に。高性能プロジェクターを設置するだけで、圧倒的にコストを削減することができます。
※比較モニター台数・導入プロジェクター機種による。

その他メリット多数	プロジェクションマッピング 実施可能	電気代など運用コスト減 ※比較モニター台数による
サイネージモニターと併用可能	故障時 メンテナンスが容易	モニターの圧迫感から解放

最大8チャンネルを同時配信!

各シーンに最適な番組をその場でチョイス!

「常に変化化する売り場の顧客層にフィットするコンテンツを流したい」「雨の降り出した時間帯だけ特定のコンテンツをその場で選択したい」など、状況に応じたコンテンツを当意即妙に選択できます。コントロールセンターではアプリを使って複数台を一括切替、また売り場では専用リモコン(オプション)を使用しその場で番組切替が可能です。

選べるクラウド運用と自社運用

コストメリットを最適化!

少数のサイネージ運用であれば、ピーサイネージサーバーを利用したクラウド運用でインシャルコストを抑えたスタートアップがおすすめです。また中・長期スパンで考えた場合、一定数以上のサイネージが必要となる場合は、ご利用者様の施設内にサーバー/ソフトウェアを設置・運用する「自社運用(オンプレミス型)」がおすすめです。コストメリットやカスタマイズ性の高さなどそれぞれの長所を生かしたハイブリッドクラウドシステムをご提供いたします。



使いやすい配信管理システム

これまでのネットワークサイネージ用アプリケーションは、レイアウトや番組表作成などの工程間のつながりがわかりにくく、各サイネージ端末ごとに細かく各種設定を行う必要もあり非常に煩雑なものとなりがちでした。ピーサイネージのユーザーインターフェースは「わかりやすい」「使いやすい」を第一に、プロジェクターにもサイネージモニターにも、番組表作成から配信設定までをシンプルかつシームレスに行えるのはもちろん、最大8チャンネル同時配信、カメラキャプチャによる状態監視、コンテンツダウンロード機能など、「こうなればもっと便利なのに」という現場運用のニーズを充足する配信管理システムです。

画像・映像画角を自由に設定可能!
すべてをプリセットにして簡単運用

今までのシステムでは「1920x1080(フルHD)」「1280x720(HD)」と固定された画角しか選択できず、自由度が大きく制限されていました。ピーサイネージでは画角をピクセル単位で設定可能、その中でさらに4枚のフレームと2種のテロップを自由に配置できます。また、良く使う画角や画面配置をプリセット化できますので、毎回それらの設定をすることなく、モニター、プロジェクターなどに合わせた画面設定を瞬時に呼び出して番組作成が行えます。

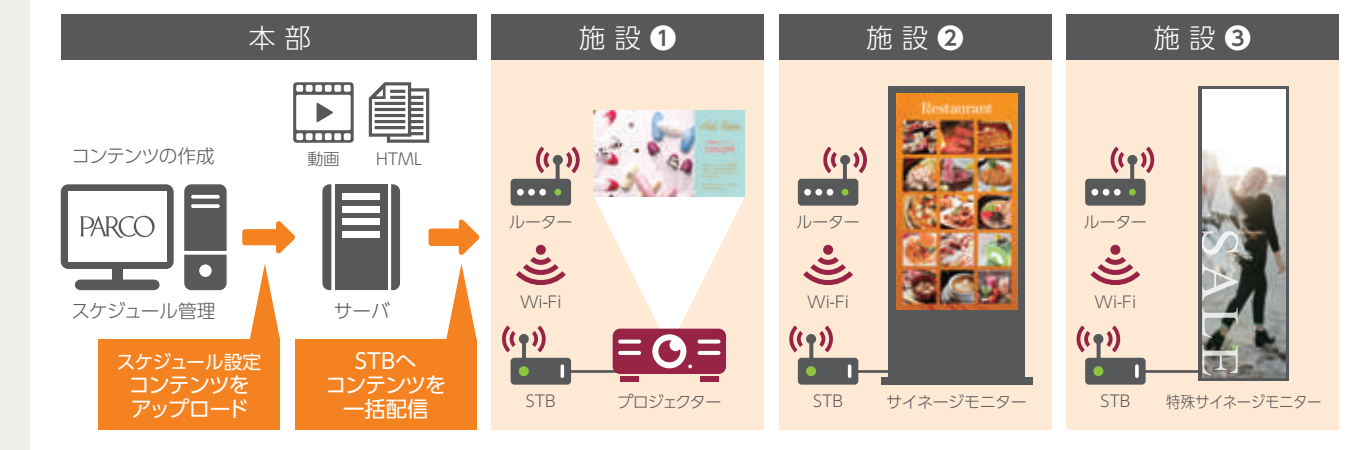
最大8チャンネルを配信可能!
顧客層・時間帯に合わせたフレキシブルな運用

午前中・ランチタイム・ティータイム・ディナータイムなど固定的なスケジュール配信だけではカバーできなかった「ティーン層・ファミリー層・シニア層」など、今現在の顧客に合わせたコンテンツのチョイスを可能にする最大8チャンネルの配信が可能です。管理者用PCから複数台のチャンネル選択を一元管理することももちろん、サイネージを運用する現場担当者がリモコン(オプション)を用いてその場で最適なコンテンツを選択・放映することができます。

カメラキャプチャによる状態監視が可能!
複数管理者間の連携もスムーズに

各サイネージのスクリーンキャプチャはもちろん、STBにwebカメラ(オプション)を接続することで、リアルタイムでサイネージの「今」の状況が目視確認できます。障害発生時の原因の切り分けに有効なのはもちろん、特にプロジェクター運用時の映像のズレなどにも効果を発揮します。またアップロードコンテンツ(番組・タイムテーブル・スケジュール)を一定数サーバーに保持し、いつでもダウンロードできるので、各地に点在する複数人の管理者で管理運用する場合や、ヘルプデスク(オプション)からのサポートを受ける際に非常に便利です。

ピーサイネージ専用配信管理システムの構築





曲面・大型の壁に



吊りポスター横断広告に



複数の柱に



様々なサイズのモニターにも

デジタルサイネージの新しい提案。

PSIGNAGE

ピーサイネージ

プロジェクター対応型・配信管理・デジタルサイネージ

いままでのサイネージモニターだけではない、
プロジェクターなどあらゆる表示媒体に対応可能な配信管理システムによる、
新しいデジタルサイネージのかたち。



いままでのサイネージモニターに加え、特殊な形状のモニターや、LEDビジョン、プロジェクターを使ったデジタルサイネージへ。これまでのサイネージシステムでは難しかったモニター・プロジェクターのなど様々な表示媒体を用いた複合的なシステム構築を可能にします。従来はフルHD(16:9)などに固定されていましたが、配信画角サイズの設定を自由に変更できるようになり、様々な解像度の表示媒体を利用可能です。特にプロジェクターに関しては高輝度・高性能プロジェクターと専用の配信管理システムを使うことで、美しく大型で自由な映像投影と、モニター枠からの解放、大幅な導入コスト減、設置・メンテナンス手間の減少など、新しく様々なメリットが生まれる配信管理デジタルサイネージの世界が実現します。